

『ご利用は計画的に!』っていうけれど???

～キャッシング・シミュレーションをやってみよう!～

年 組 番 氏名()

1. 沖縄県の消費者金融問題の実態

- (1) なぜ借りるのか? ～自己破産申請者の実態～
- (2) 異常な消費者金融業者数
- (3) 借金の果てに…

2. 借金の理由

- (1) あなたがお金を借りることになるとしたらどんな状況のときに借金をすると思いますか? 事前アンケートのクラス集計結果を記入しましょう。

1位	
2位	
3位	

3. 金融機関の選択

あなたは月収8万円で子供と2人で生活費を切りつめながら生活をしています。そんななか、子供が病気で入院することになり、借金をしなくてはいけなくなりました。親族や友人に借金を申し込みましたが、断わられてしまいました。あなたがお金を借りにいくとしたらどの金融機関を選択しますか。

CMやチラシを見て選んでみよう。

	銀行	消費者金融	消費者金融
	A 銀行	B ファイナンス	C 商事
情報媒体	チラシ・CM・ホームページ	CM・新聞広告・ホームページ	チラシ
どんな情報を得ましたか? 情報の内容を書いて下さい。			
選択する会社に○印			
選んだ理由 選ばなかった理由			

4. 金利計算をしてみよう!～返済総額と返済期間～

- (1) あなたの選んだ金融機関の年利を【 】に入れて計算してみましょう。

金融機関	A 銀行	B ファイナンス	C 商事
年利	9%	25%	55%

A:10万円借りて、1年後に一括返済した場合の返済総額

10万円+(10万円×(【 】÷100))×1年 = ()円

金融機関	A 銀行	B ファイナンス	C 商事
返済総額	円	円	円

※他の会社の場合も記入する。

B:10万円借りて、毎月元利合計を1万円ずつ返済した場合の返済期間・返済総額

月利 = 【 】% ÷ 12ヶ月 = (①) % (小数点第2位まで)

利率 = 1 + ((①) ÷ 100) = (②)

※小数点以下は四捨五入

返済回数	(元金) × (利率) - (返済額) = (残額)
1ヶ月目	10万円 × (②) - 10,000円 = (A)円
2ヶ月目	(A) × (②) - 10,000円 = (B)円
3ヶ月目	(B) × (②) - 10,000円 = (C)円
4ヶ月目	(C) × (②) - 10,000円 = (D)円
5ヶ月目	(D) × (②) - 10,000円 = (E)円
6ヶ月目	(E) × (②) - 10,000円 = (F)円
7ヶ月目	(F) × (②) - 10,000円 = (G)円
8ヶ月目	(G) × (②) - 10,000円 = (H)円
9ヶ月目	(H) × (②) - 10,000円 = (I)円
10ヶ月目	(I) × (②) - 10,000円 = (J)円
11ヶ月目	(J) × (②) - 10,000円 = (K)円
12ヶ月目	(K) × (②) - 10,000円 = (L)円
13ヶ月目	(L) × (②) - 10,000円 = (M)円
14ヶ月目	(M) × (②) - 10,000円 = (N)円
合計	1万円 × (☆)ヶ月 + (※) = ()円 ☆=1万円返済した回数 ※=返済額が1万円未満になった場合の(残金×利率)

金融機関	A 銀行	B ファイナンス	C 商事
返済期間	ヶ月	ヶ月	ヶ月
返済総額	円	円	円

※他の会社の場合も記入する。

5. 金融機関の選択や金利計算の結果から分かったことは何ですか？

6. 金利の落とし穴

Q. 『借入限度額』ってなに？

借入限度額は「与信限度枠」ともいわれ、金額は『信用』により決められます。決められた金額の範囲でなら何度でも借入でき、その分の利息が発生します。

また毎月、順調に返済をしていくと、消費者金融業者は「信用状態がよい」として借入限度額を上げて、さらなる借入を勧めてきます。そうすることにより、業者は多く貸し付け、利息を多く得られるようになります。その結果、返済可能な金額を超えて借金をすることになり、多重債務へ陥る可能性が高くなります。

『21世紀をたくましくIV』
P.7～8を見よう。

Q. それぞれの金融機関から10万円・30万円・50万円借金した場合、1ヶ月に1万円返済する(元利均等方式)として、返済期間と返済合計を比較してみよう。

金融機関	A銀行	Bファイナンス	C商事
年利	9%	25%	55%
10万円	ヶ月	ヶ月	ヶ月
	円	円	円
30万円	ヶ月	ヶ月	ヶ月
	円	円	円
50万円	ヶ月	ヶ月	ヶ月
	円	円	円

★★☆☆ 知っておこう!金利を規制する主な法律! ☆☆☆★

(1) 利息制限法

① 利息制限法第1条1項

- 元金10万円未満の場合 年2割(20%)
- 元金10万円以上100万円未満の場合 年1割8分(18%)
- 元金100万円以上の場合 1割5分(15%)

を最高利率と定め、これを超える利息の契約、制限超過分については「無効」として
いる。

② 利息制限法第1条2項

制限超過分の利息を、お金を借りた人が「任意」に支払った時はその返還を請求できない。

(2) 出資法(第5条2項)

貸金業者が業としてお金を貸し付ける場合、年29.2%を超える場合による利息の契約をし、又これを超える利息金を受領したときは、5年以下の懲役もしくは1,000万円以下の罰金に処し、またはこれを併科する。

○○●● 消費者金融業者はグレーゾーンで営業している ●●○○

『21世紀をたくましくIV』
P.10を見よう。

Q. 『連帯保証人』になってしまうと・・・

『21世紀をたくましくIV』
P.11を見よう。

連帯保証人とは「貸し手から借金の返済を請求されたら、返済する責任がある」それだけ、責任が重いものです。

沖縄県には「ユイマール」という助け合いの社会構造があり、安易に連帯保証人になり、多額の借金を抱えることになる例が少なくありません。

安易に連帯保証人になるのではなく、適切なアドバイスができるようにしましょう。

なお、未成年者が連帯保証人になっても、当該未成年者は支払う必要はありません。

Q. 計画的な購入とはどうすることだと思いますか。

7. 家計シミュレーション

大学生みどりさんは「20万円のパソコン」を購入しようと思っています。1ヶ月の家計簿は以下のようになっています。あなたならどのようなアドバイスをしますか。

①～④から選び、コメントを書こう!

収入	親からの仕送り	100,000円
	アルバイト	65,000円
	合計	165,000円
支出	家賃(管理費含)	50,000円
	食費	35,000円
	光熱・水道	6,000円
	電話・通信	20,000円
	交通費	2,700円
	洋服	10,000円
	美容	5,000円
	教養・娯楽	3,000円
	交際費	10,000円
	国民年金	13,300円
	合計	155,000円

- ①現在の支出のまま貯金して購入する。
 - ②現在の支出を切り詰めて毎月2万円貯金して購入する。(☆どのように支出を切り詰めるか左の表を書き直してみよう。)
 - ③借金して購入し、現在の支出のまま毎月1万円返済する。(☆どの金融機関から借りるか。)
 - ④借金して購入し、現在の支出を切り詰めて、毎月2万円を返済する。(☆どの金融機関から借りるか。)
- (☆どのように支出を切り詰めるか左の表を書き直してみよう。)

収入－支出 = 10,000円

Mさんへのアドバイスを書いてください。

8. まとめ

Q. 沖縄県において、多重債務者、自己破産者が増加している社会的背景と問題点を見つけよう。

Q. 沖縄県の現状を知って、これからあなたができることはなんですか。